

～高丸山の森づくり情報～



遊学の森便り

第176号
220106

12月の遊学の森の様子



中旬の高丸山です。落葉すると、区画の中からも高丸山の頂上が見えるようになりました。



遊学の森を歩くと、木々の枝ぶりがよく見えます。来年も大きくなってほしいなあと思います。



初旬にシカ防除ネットの視察がありました。森林総合研究所四国支所や県の方々と見回りました。



月末のシカネット見回りでは、3センチ程度の積雪が見られました。寒い日でした。



モミとツガが仲良く並んでいます。樹形の違いなど勉強になります。落葉せず、このまま冬を越します。



ふと足元を見ると、落ち葉の上にモミの種が散らばっていました。ここから芽がでるかな。

■森づくり作業・管理レポート

●みんなの森づくり日記 12月1日～12月26日

活動内容	活動日	被害箇所	活動団体	作業内容
獣害被害 防除ネット 修復	12月 1日 13日 26日	53カ所 18カ所 23カ所	かみかつ 里山倶楽部 事務局	森づくり区画の外周に張っている、獣害被害防止ネットの補修状況です。1日は専門家が多数、アドバイスをもらいながらより細かい修繕ができました。13日はスカートネットの張り直しなどを行い、26日はネットの噛み切りが多発していました。来年以降も見回りを続けます。
森づくり 活動	12月21日	東亜合成株式会社		森づくりボランティア団体の活動でした。コロナの感染防止のため、作業をお休みされていたのですが、区画の様子を見に来られました。来年度は活動できるように、コロナがおさまっていることを願います。

■トピックス

●冬の樹皮観察

冬は木の種類を見分けるのは大変難しいです。とはいえ、落葉した後の枝にある、冬芽（来春のために葉っぱや花の赤ちゃんが入っている芽）や樹皮を観察して調べ、これは〇〇という木だと判別することは可能です。今回は遊学の森にある木の樹皮を集めてみました。樹皮は冬以外も確認できるので、次回、山に来たときにチェックしてみてください。



ブナ：蘚苔類がつくのでまだら模様



ケヤキ：小さい皮目がたくさん



カツラ：樹皮が縦に細かく割れる



ミズメ：ヤマザクラによく似ていますが白っぽい色をしています



ヤマザクラ：皮目と樹皮の色が特徴的



キハダ：若いときはつるっとした樹皮

●高丸山の積雪と路面凍結

昨年末に寒波がやってきました。12月26日時点で、県道および高丸山にむかう町道に薄く積雪が見受けられました。雪が解けずに凍り、路面は凍結路面となります。

近年、寒暖の差が激しく、凍結路面が解消されることもありますが、凍っていることも予想して冬用タイヤや四駆車両で走行ください。また、凍結路面の走行に慣れていない方は、前述の車両であっても、走行をお勧めしません。

高丸山へは暖かい時期にお越しください。
(右写真：12月26日の高丸山町道)



千年の森ふれあい館（指定管理者：一般社団法人かみかつ里山倶楽部）

〒771-4502 上勝町旭中村 66-1 TEL：0885-44-6680 FAX：0885-44-6681

E-mail：sennennomori@@kkcatv.jp ※本便りは、千年の森 HP にフルカラーでアップ中です。